

「防災・備災：どさんこのソナエ企画」

北海道日産の電気自動車や「LEAF to Home」について発信

2018年9月6日(木)未明に発生した北海道胆振東部地震。震度7の地震に見舞われた胆振東部はもちろん、北海道全域が一斉に停電するという未曾有の事態であらゆる都市機能が停止。北海道民の生活に大きな混乱をもたらしました。災害への「備え」の大切さが改めて注目されています。

本企画は、2018年11月からスタートした『どさんこのソナエ』シリーズの第四弾です。

今回、紹介させていただいた電気自動車「日産リーフ」と、モデルハウス公開中の「LEAF to Home Hokkaido」は、2019年1月に弊紙「さっぽろ10区」の記事で紹介されました。その際、私も取材に同行しましたが、記事では書き切れなかったことを整理・再構築し、本シリーズの特徴である「分かりやすいイラストとトピックスにまとめたもの」が今回の企画です。「+ソナエ・プロジェクト」には、特別にトピックスに合わせてイラストを描き起こしてもらいました。

ブラックアウトを経験した我々は当然、電源確保の重要性を認識したものの「電気の備え」はかなりハードルが高く、特に一般家庭では電池やモバイルバッテリーの買い置きが中心になっていると思います。

紙面掲載後、モデルハウスの方には「事業主や個人の方からの問い合わせや見学が増えた」と聞いています。今回の企画で、電気自動車の「走る蓄電池」という特徴に改めて注目いただき、「電気の備え」の選択肢の一つとして認知いただけたのではないかと思います。

いつか来る「次」に、今日から備えよう。

## どさんこのソナエ

VOL.4

### どうする？ 電気のソナエ

地震はもちろん、台風や水害でも起こりうる停電、水や食料のように、目に見えない形で備蓄が難しいからこそ、まずは日常の電気の使い方について意識することから始めてみませんか。

普段の消費電力を把握してみよう

 500-900W	 150-300W	 1000W
 1300W	 45-2000W	 600-1200W

自分の家にある電化製品の消費電力を把握しておけば、災害時の限られた電力の中でも賢く使う方法を考えることができます。

※全国平均の電力の一部を北海道新聞社が提供し、提供先として管理しています。企業向け：北海道新聞社(株)、公開：編集・メンテナンス(プロジェクト) ※「プラス・プロジェクト」は、個人・法人に提供されるサービスであり、2019年6月30日をもって提供を終了させていただきます。

道内全域が停電になってしまった2018年の9月以降、「走る蓄電池」として注目を集めている電気自動車(EV)。今回は、日産のリーフをテーマに住まいと電気自動車の新たな関係についてご紹介していきます。

**01 電気自動車とは？**

ガソリン自動車はガソリンをエンジンで燃焼させて車を動かすのに対し、電気自動車は電気力でモーターを動かして、車を走らせます。ガソリンなどの化石燃料を使わず、走行中の排気ガスやCO2も排出しません。家で簡単に充電ができることから、スタンド遠征地での活躍も期待されています。



**02 給電も、蓄電も**

日産リーフと住宅を専用のEV充電ステーションで接続する「LEAF to Home」システムでは家庭の電力をリーフに蓄えることももちろん、停電など電力が不足した際には、家庭に供給することもできます。太陽光発電と組み合わせると、さらに賢く電力を使うことも可能に、スマートハウス実現の大きな可能性を拓いています。



**03 停電時でもいつも通りの生活**

一般的に、夫婦2人なら10kWh〜12kWh、3〜4人なら15kWh〜17kWhの電気量一日で使うと言われています。日産リーフの蓄電容量は、40kWh。リーフe+（イープラス）なら62kWh。もしも1日あたり2〜3日分以上、いつもと変わらない生活を送ることができます。



**04 企業にこそ、走る蓄電池を**

近年、災害用発電機を導入する企業も増えていますが、燃料の保管や定期的メンテナンスが欠かせないのも事実。その点、リーフなら、平常時は営業車として使い、蓄電池を導入することが可能になります。気になる充電の費用も使い分けプラン\*なら月額2000円程度で済みます。大幅な経費削減になります。



**05 走るライフラインとしての可能性**

道央圏を拠点とする北海道日産自動車(株)では、全店舗にリーフを持ち運び可能なパワームーバー\*が設置されています。災害時には、自治体や避難所など地域の必要としている場所に電気を運び、4500Wもの大容量の電気を供給することができます。



「LEAF to Home」それは、車と住まいの電力を組み合わせることで使う新たな暮らし。夜間、リーフに充電した電力を日中の走行や、家庭の電力に使うことで電気代の節約はもちろん、非常時のバックアップ電源としても活用することができます。

LEAF to Home Hokkaidoに関する詳しいお問い合わせはこちら

**株式会社 匠 株式会社**

TEL: 011-299-3011 / FAX: 011-299-3022  
Mail: takumi@leaftohome-hokkaido.jp

モデルハウス所在地：F065-0021 札幌市東区北21条東5丁目3-19

モデルハウス公開中！

LEAF to Home Hokkaido を見に行こう！



北海道日産 ●店舗営業時間 10:00-19:00(日曜・祝日は18:00) ●定休日 毎週火曜日 ●お見積り相談室 ☎0120-990823 ※10:00-18:00(毎週火曜休)

本社：札幌市東区北19条東1丁目2番20号 <https://ni-hokkaido.nissan-dealer.jp/> 北海道日産

(2019年5月31日 朝刊 札幌本社版 全15段)

(本社営業局 小泉 真)

POINT!

\*『どさんこのソナエ』企画で、地震などの防災・備災に役立つという観点から詳しい発信が可能です。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2019.6)

\*ウェブサイトバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！ (<https://adv.hokkaido-np.co.jp/>)